

W I L C O M M

ウィルスプール・ユーティリティー

AS0006 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15
© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



ウィルスプールユーティリティ

【概要】

出力待ち行列（OUTQ）から対話式でスプールファイルのフォームオーバーレイ処理を行い、直接FAX(*1)、メール(*2)、プリンターへの出力(*3)、ファイルにて保管(*4)が可能となります。

Ver 6. 5以前ではディストリビューション・ウィザード経由にて送信処理が行われていましたが、Ver 7. 11以降（2002/1/1現在の最新版はVer 7. 15です）のバージョンではディストリビューション・ウィザードのセクションを定義することなく直接フォームを指定して送信処理を行うことができます。

フィールドマッパーにて使用するサンプルスプールファイルの転送「M=マップファイル」は、引き続き同じ機能として提供されています。

- * 1 : FAX … ①送信ファイルをテキスト形式でFAX
 ②送信ファイルをフォームにマージしてFAX
- * 2 : メール … ①送信ファイルをフォームにマージしPDF形式で添付／送信
 ②送信ファイルをテキスト形式で添付／送信
 ③送信ファイルをメール本文として送信
- * 3 : プリンターへの出力 … ①送信ファイルをテキスト形式で印刷
 ※当機能は次バージョン以降の拡張用です。
 現時点では使用できません
 ②送信ファイルをフォームにマージして印刷
- * 4 : ファイルにて保管 … ①送信ファイルをフォームにマージしPDF形式で保管
 ②送信ファイルをテキスト形式で保管

メインメニューより「11. ウィルスプール・ユーティリティ」を選択します。

MN001301 WILCOMM スプールファイル配布管理システム	
システム : S103GWMM	
次の中から1つを選んでください。	
1. 新規メッセージの作成	
2. メッセージ・リストの表示	
3. ディレクトリー照会	
4. ディレクトリー・メンテナンス	
5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信	
6. 世界時計	
7. クイック・メッセージ表示	
8. クイック送信	
11. ウィルスプール・ユーティリティ	
40. WILCOMM OUTQ インターセプター・メニュー	
50. スプールファイル・インターフェース・メニュー	
続く ...	
選択項目またはコマンド	
====>	
F3= 終了 F4=プリント F9=コメントの複写 F12= 取消し F13=1-ダミーポート	
F16=AS/400 メインメニュー	
(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES VSN : 7.15	

【操作手順】

◆ 共通（サンプルスプールの転送、メール&ファックスにて直接送信、プリンターファイルへの出力）

WILCOMM - SPOOL SELECTION (WILSPOOL)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
ユーザー名	*CURRENT	文字値 , *CURRENT
出力待行列	*ALL	名前 , *ALL
ライブラリー		名前 , *LIBL
フォームタイプ	*ALL	文字値 , *ALL
ユーザーデータ	*ALL	文字値 , *ALL
終り		
F3= 終了 F4=プリント F5= 最新表示 F12= 取消し F13= この画面の使用法		
F24= キーの続き		

処理対象となるスプールファイルを抽出するために、該当抽出条件を入力します。

- ユーザー名 : スプールファイルの作成者を指定します。
 *CURRENT サインオンしているユーザープロファイルで検索
 *ALL 全てのユーザープロファイルで検索
- 出力待ち行列 : スプールファイルの OUTQ（出力待ち行列）を指定します。
 *ALL 下記で指定されたライブラリーの全 OUTQ を検索
- ライブラリー : OUTQ（出力待ち行列）のライブラリーを指定します。
 *LIBL ライブラリーリストのライブラリーを対象とします
- フォームタイプ: スプールファイルの用紙タイプを指定します。
 *ALL 全ての用紙タイプを検索
- ユーザーデータ: スプールファイルのユーザーデータを指定します。
 *ALL 全てのユーザーデータを検索

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信		9:47AM 2/03/05	
				スプールファイル数 : 5	
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。					
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性					
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル					
				合計	
				ページ	
ファイル	ユーザー	装置 / 待ち行列	ユーザーデータ	用紙タイプ	数 日付 時刻
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDEFSV	WILNOTIFY	*STD	4 18/02/02 9:43
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDEFSV	PDF-TEST	PDF	4 21/02/02 12:53
QPDSPJOB	WILPLEX	KOIDEFSV		TEST	7 21/02/02 13:03
QPSUPRTF	KOIDE	KOIDEFSV		*STD	1 26/02/02 15:05
BIL522	QSECOFR	KOIDEFSV		*STD	122 20/12/01 18:33
オプション 1,2,3 のパラメータ					
==>					
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き					

※ 「F 2 4 =キーの続き」を押すと以下の画面になります。

オプション 1,2,3 のパラメータ	
==>	
F8=フィルター F23= 再始動 F24= キーの続き	

※ 「F 8 =フィルター」を選択すると、再度スプールファイルの抽出画面が表示されます。（前ページの画面が表示され、再度スプールファイルを検索することができます）

◆ サンプルスプールファイルの作成

サンプルスプールファイルとして使用するスプールファイルのオプション欄に“M”（マップファイル）を入力し、実行キーを押します。

KOIDE		WILSPOOL - スプールファイル送信		9:56AM 2/03/05	
				スプールファイル数 : 5	
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。					
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性					
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル					
合計					
ファイル	ユーザー	装置 / 待ち行列	ユーザーデータ	用紙タイプ	数 日付 時刻
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDEFSV	WILNOTIFY	*STD	4 18/02/02 9:43
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDEFSV	PDF-TEST	PDF	4 21/02/02 12:53
QPDSPJOB	WILPLEX	KOIDEFSV		TEST	7 21/02/02 13:03
M QPSUPRTF	KOIDE	KOIDEFSV		*STD	1 26/02/02 15:05
☐ BIL522	QSECOFR	KOIDEFSV		*STD	122 20/12/01 18:33
オプション 1,2,3 のパラメータ					
==>					
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き					

サンプルとして使用するスプールファイルに名前をつけ（フォーム名を入力）、実行キーを押します。

マップファイル - フィールド Mapper 用帳票イメージファイル	
フォーム名	STANDARD (拡張子として .MAP が付加された名前で作成されます)
サンプルページ数	1 (MAX= 1)
スプール ID= QPADEV0004/KOIDE/508523/QPSUPRTF/0001/*STD/	
実行キーで選択が確定されます。	

サンプルスプールファイルは共用フォルダー“SI” ¥ FORMMAPS に作成されます。確認後必ず

Program Files ¥ Wilkinson ¥ WilComm Universal ¥ F3Forms ¥ Sample Spool Files
へコピーして下さい。

◆ F A X送信処理

F A X送信を行う、スプールファイルのオプションに“ X ”（転送オプション）を入力し、実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信		1:33PM 2/03/08	
				スプールファイル数 : 7	
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。					
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性					
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル					
合計					
ファイル	ユーザー	装置 /	ユーザデータ	用紙タイプ	数 日付 時刻
X BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1 7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3 7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2 7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6 7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1 7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5 7/03/02 15:28
QPDSP LIB	KOIDE	KOIDE SV		*STD	2 7/03/02 17:25
オプション 1,2,3 のパラメータ					
==>					
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き					

送信方法選択画面（下記参照）が表示されますので、ここではF A Xを選択します。
F A Xのオプション欄に“ X ”を入力します。

転送オプション	
文字を入力して実行キーを押して下さい。	
X FAX	
Eメール	
プリント	
ファイル	
F12= 取消し	

FAX 送信用に以下の画面が表示されます。

カバーページと FAX 詳細の入力	
サブスクライバー: _____ ①	F9 サブスクライバーディレクトリ
&/OR FAX 番号: _____ ②	
カバーページ 使用 Y/N: <u>N</u> ③	名前: _____ ④
宛先: _____	
差出人: <u>小出</u> ⑤	F4 変更/表示 /REVIEW
件名: _____ ⑥	
メッセージ: _____ ⑦	
_____ ⑧	
_____ ⑨	
_____ ⑩	+
ウイコムにおけるこのメッセージのオーナー	KOIDE ⑪
ウイコムメッセージリストの件名に含む内容: <u>S</u> ⑫	T= 宛先 TS= 宛先/件名 S= 件名 ST= 件名/宛先
すべての添付を結合する Y/N: <u>N</u> ⑬	
F13-20= 保管キーページ取得 F7= 保管キーブック QPADEV0003/KOIDE/486674/BIL6200/0002/BIL620/BIL620	

各項目については次ページ以降に詳細に説明を記述します。

<項目説明>

①サブスクライバーコード

FAXサービスを定義してあるサブスクライバーコードを指定します。

F9キーで登録してあるサブスクライバーから送信先を選択することもできます。

(下記画面参照)

KOIDE	アドレス選択	9:48AM 2/03/07
		MSG: *NEW
開始位置		
アドレスを選択して下さい。		
T="T0" 送信先 C="CC" カーボン・コピー		
アドレス	アドレス名称	
DEFAULT-WF	ウィルファックスサービス	S
DEFAULT-WM	ウィルメールサービス	S
DEFAULT-WP	ウィルプリントサービス	S
DISTRIBUTOR-ADDRESSED	配布 ファイル での アドレスリング	S
FAX-TO-KISS	KISS FAX	S
HIRO	HIROSHI MUNETO'S USER PROFILE	U
JUN@KISS21.CO.JP	NAME: JUN@KISS21.CO.JP	S
KOIDE	小出 利行	U
KOIDE	KOIDE	S
KOIDE-WF	KOIDE-WF	S
MAIL	MAIL	S
MUNETO		S +
F3= 終了	F5= 最新表示	F6= グループ・メンテナンス
F7= アドレス名称順表示		F8= アドレス名称で抽出
F9= アドレス・メンテナンス		F10= 実行

送信対象となる宛先に“ T ”（送信先）を指定し、F10キーを押します。

“ C ”（カーボン・コピー）を指定しますと、同時に複数箇所への送信が可能となります。

F10キーを押すと、宛先名の入力画面が表示されますので宛先名称を入力します。

受取人情報入力 詳細を入力して実行キーを押して下さい 受取人 : KOIDE 宛先名 : _____
--

②FAX番号

送信する宛先の F A X 番号を入力します。①のサブスクライバーコードと併用し、同時に複数箇所への F A X 送信が可能です。

③カバー・ページ使用 Y / N

送信するスプールファイルにカバーページを添付し送付する場合は “ Y ” を入力します。カバーページが不要な場合は “ N ” を入力します。

“ Y ” が初期表示されます。

カバーページは以下のフォルダーに格納します。

格納フォルダー名：Program Files ¥ MESSAGEmanager ¥ Covers

④名前

上記③のカバーページ使用 Y / N でカバーページを添付すると指定（“ Y ” と入力）した場合に、使用するカバーページのファイル名を指定します。

カバーページのファイル名は大文字・小文字を判別します。また、カバーページの拡張子（CVR）も指定します。（例：XXXX.CVR と入力）

⑤差出人

差出人名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロファイルのユーザー名が初期表示されます。

⑥件名

件名を入力します。

⑦～⑩メッセージ

メッセージを入力します。

⑪ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー

送信管理の画面に表示されるメッセージのオーナー名を入力します。

初期値はユーザー・プロファイルです。

⑫ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容

ウィルコムメッセージリストの件名に表示する内容の指定をします。

“ T ” ：宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。初期表示の値。

“ S ” ：件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ T S ” ：宛先／件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ S T ” ：件名／宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

⑬全ての添付を結合する Y / N

メール送信サービス、ファイル保存サービスのみ機能します。

複数スプールファイルを選択した場合に、それぞれのフォームで複数のファイル（例：PDF ファイルなど）を作成し、メール添付／ファイル保存を行うのか、一つのファイルにてメール添付／ファイル保存を行うか、ファイル作成方法を指定します。

Y：1つのファイルにて添付ファイル／ファイル保存

N：複数のファイルにて添付ファイル／ファイル保存

<ファンクションキー説明>

a. F 7 キー：保管キーブック

保管キーブックの選択をします。（保管キーブックの作成方法は次項以降参照）

保管キー入力情報選択 （ 1 つ選択または、 CMD3 で終了 ）			
選択	名前	記述	作成者
	HIRO	HHH	QSECOFR
	KOIDE		KOIDE
	MURRAY	MMM	QSECOFR

b. F 1 3 ～ F 2 0：保管キーページの取得

上記 a. で取得された保管キーブックの各ページが各ファンクションキーに対応。

F 1 3：1 ページ

F 1 4：2 ページ

F 1 5：3 ページ

F 1 6：4 ページ

F 1 7：5 ページ

F 1 8：6 ページ

F 1 9：7 ページ

F 2 0：8 ページ

保管キーページの取得を行うと、キーページに設定されている各行が以下のように設定（上書き）されます。

キーページの 1 行目：項目説明の④（名前）に設定（上書き）されます。

キーページの 2 行目：項目説明の⑥（件名）に設定（上書き）されます。

キーページの 3 行目～1 4 行目：項目説明の⑦～⑩（メッセージ）に設定（上書き）されます。

＊保管キーブックとは？

挨拶文、その他定型文書を事前にブックという形で登録し、送信時にファンクションキーを操作することにより、必要な文書を画面上のメッセージの欄に表示させるための機能です。

【例】

キーブック：GREETING

名称：挨拶文

1 ページ：貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

2 ページ：貴店ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

3 ページ：平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

<保管キーブックの作成>

メニュー番号「60＝アプリケーション・コントロール・メニュー」を選択します。

MN000201	WILCOMM スプールファイル配布管理システム	システム : S103GWMM
次の中から1つを選んでください。		
60. アプリケーション・コントロール・メニュー		
70. WILCOMM セキュリティ・メニュー		
80. デモンストレーション・メニュー		
90. サイン・オフ		
選択項目またはコマンド ==> 60		終了
F3= 終了 F4=プロンプト F9=コメントの複写 F12= 取消し F13=ユーザーサポート F16=AS/400 メインメニュー		

メニュー番号「21. WILPLEXエディター・特別機能メンテナンス」を選択します。

MN000204 アプリケーション・コントロール・メニュー システム : S103GWMM

次の中から1つを選んでください。

- 11. メッセージ・プレフィックス・メンテナンス
- 12. ユーザー・プロファイル・メンテナンス
- 13. システム設定メンテナンス
- 14. サービス詳細メンテナンス
- 15. メッセージ・ソースファイル作成
- 16. コントローラー・ユニット照会
- 17. サービス照会
- 18. モニター開始
- 19. モニター活動状況照会 (SUBSYSTEM WILPLEX)
- 20. モニター停止 (SUBSYSTEM WILPLEX)
- 21. WILPLEX エディター・特別機能メンテナンス
- 22. 世界時計メンテナンス
- 23. 検索テーブル・メンテナンス
- 24. WILPLEX ファイルの再構成

続く ...

選択項目またはコマンド
 ==> 21
 F3= 終了 F4=プロンプト F9=コメントの複写 F12= 取消し F13=ユーザーサポート
 F16=AS/400 メインメニュー

オプション「2. =CREATE/ALTER KEYSTROKE SAVERS」選択します。

WILPLEX EDITOR SUPPORT

- 1. CREATE/ALTER TAB SETTINGS.
- 2. CREATE/ALTER KEYSTROKE SAVERS.

SELECT OPTION : 2

F3= 終了 F12= 前画面

ENTER NEW NAME TO CREATER (キープック名) と
 ENTER DESCRIPTION (名称) を入力し、実行します。

KEYSTROKE SAVER MAINTENANCE.

ENTER NEW NAME TO CREATE : KOIDE

ENTER DESCRIPTION..... : WILSP00L KEY BOOK

SELECT	NAME	DESCRIPTION	CREATOR
	HIRO	HHH	QSECOFR
	MURRAY	MMM	QSECOFR

キーブックの各ページ（１～８）の登録を行います。

ファックス送信の件
いつも大変お世話になります。
ご依頼のありました資料を送信いたします。
よろしくご査収の程、お願い致します。

株式会社ケイアイエスエス
WILCOMM サポート部門

以上で保管キーブックの作成は終了です。ここで作成した各ページが前述のファンクションキーの F 1 3 ～ F 2 0 に対応します。

FAX 送信用画面（7 ページ参照）の入力が完了したら実行キーを押します。

受取人情報入力 詳細を入力して実行キーを押して下さい	
受取人：	KOIDE
宛先名：	_____

宛先名を入力します。

F9 キーでアドレス選択を行った場合、この画面は表示されません。

入力後、実行キーを押しますと、下記画面が表示されます。

帳票詳細入力 実行キーで選択が確定されます。	
スプール ID= QPADEV0004/KOIDE/143064/QPQUPRFIL/0001/*STD/	
記述	REPORT ATTACHMENT ①
添付形式	F ② F - フォーム T - テキスト
送信ページ範囲	1 ③ 1 ④
用紙タイプ	*STD ⑤
F6= カバーページへ戻る	

<項目説明>

①記述

FAX するスプールファイルの添付名を入力します。

※全角入力は不可

②添付形式

FAX 送信方法を入力します。

“ F ”：スプールファイルをフォームにマージし FAX 送信を行います。

“ T ”：スプールファイルをそのままの形式で FAX 送信を行います

③送信ページ範囲（From）

送信対象ページの開始ページを指定します。

④送信ページ範囲（To）

送信対象ページの終了ページを指定します。

⑤用紙タイプ

添付形式を“ F ”に指定した場合にフォーム名を指定します。

項目説明を参照し、入力を行い実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信			2:16PM	2/03/08
					スプールファイル数 : 7	
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
					合計	
ファイル	ユーザー	装置 /	ユーザーデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1	7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3	7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2	7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6	7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1	7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5	7/03/02 15:28
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDESV		*STD	2	7/03/02 17:25
						+
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

F 1 0 キー：続行を押すと、F A Xの送信処理が開始されます。

F 3 キーを押して、メニューに戻り、メッセージリストにて F A Xの送信状況を確認します。

F 1 0 キーを押さないで、F 3 キーまたは F 1 2 キーを押すと以下のようなメッセージが表示されます。送信処理のキャンセルを行う場合は“ N ”を入力し実行キーを押します。

未送信のスプールファイルを 送信しますか？ Y F12= 取消し

◆ Mail送信処理

Mail送信を行う、スプールファイルのオプション欄に“X”（転送オプション）を入力し、実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信			2:25PM 2/03/08	
				スプールファイル数 :		7
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
合計 ページ						
ファイル	ユーザー	装置 / 待ち行列	ユーザーデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
X BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1	7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3	7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2	7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6	7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1	7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5	7/03/02 15:28
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDESV		*STD	2	7/03/02 17:25
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

送信方法選択画面が表示されるので、ここではEメールを選択します。
Eメールのオプション欄に“X”を入力します。

転送オプション	
文字を入力して実行キーを押して下さい。	
FAX	
X Eメール	
プリント	
ファイル	
F12= 取消し	

M a i l 送信用に以下の画面が表示されます。

Eメール 詳細の入力	
サブスクライバ-: ①	F9 サブスクライバ-ディレクトリ
&/OR Eメール: ②	
宛先:	F4 変更/表示
差出人: 小出 ③	/REVIEW
件名: ④	
メッセージ:	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	+
ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー	KOIDE ⑨
ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容:	S ⑩ T= 宛先 TS= 宛先/件名
	S= 件名 ST= 件名/宛先
すべての添付を結合する Y/N: N ⑪	
F13-20= 保管キーページ取得	F7= 保管キーブック
QPADEV0003/KOIDE/486674/BIL6200/0002/BIL620/BIL620	

各項目については次ページ以降に詳細に説明を記述します。

<項目説明>

①サブスクライバーコード

M a i l サービスを定義してあるサブスクライバーコードを指定します。

F 9 キーで登録してあるサブスクライバーから送信先を選択することもできます。

KOIDE	アドレス選択	9:48AM 2/03/08
		MSG: *NEW
開始位置		
アドレスを選択して下さい。		
T="T0" 送信先 C="CC" カーボン・コピー		
アドレス	アドレス名称	
DEFAULT-WF	ウィルファックスサービス	S
DEFAULT-WM	ウィルメールサービス	S
DEFAULT-WP	ウィルプリントサービス	S
DISTRIBUTOR-ADDRESSED	配布 ファイル での アドレスリング	S
FAX-TO-KISS	KISS FAX	S
HIRO	HIROSHI MUNETO'S USER PROFILE	U
JUN@KISS21.CO.JP	NAME:JUN@KISS21.CO.JP	S
KOIDE	小出 利行	U
KOIDE	KOIDE	S
KOIDE-WF	KOIDE-WF	S
MAIL	MAIL	S
MUNETO		S +
F3= 終了	F5= 最新表示	F6= グループ・メンテナンス
F7= アドレス名称順表示		F8= アドレス名称で抽出
F9= アドレス・メンテナンス		F10= 実行

送信を行う宛先に“ T ”（送信先）を指定し、F 1 0 キーを押します。

また、“ C ”（カーボン・コピー）を指定しますと、同時に複数箇所への送信が可能です。

F 1 0 キーを押すと、宛先名の入力画面が表示されますの宛先名を入力します。

受取人情報入力	
詳細を入力して実行キーを押して下さい	
受取人 :	KOIDE
宛先名 :	_____

②Eメール

送信する宛先のメールアドレスを入力します。①のサブスクライバーコードと併用し、同時に複数箇所へのMail送信が可能です。

③差出人

差出人名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロフィールのユーザー名が初期表示されます。

④件名

件名を入力します。

⑤～⑧メッセージ

メッセージを入力します。

⑨ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー

オーナー名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロフィールが初期表示されます。

⑩ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容

ウィルコムメッセージリストの件名に表示する内容の指定をします。

“ T ” : 宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。初期表示の値。

“ S ” : 件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ T S ” : 宛先／件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ S T ” : 件名／宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

⑪全ての添付を結合する Y/N

メール送信サービス、ファイル保存サービスのみ機能します。

複数スプールファイルを選択した場合に、それぞれのフォームで複数のファイル（例：PDF ファイルなど）を作成し、メール添付／ファイル保存を行うのか、一つのファイルにてメール添付／ファイル保存を行うか、ファイル作成方法を指定します。

Y：1つのファイルにて添付ファイル／ファイル保存

N：複数のファイルにて添付ファイル／ファイル保存

a. F 7 キー：保管キーブック

保管キーブックの選択をします。（保管キーブックの作成方法は FAX 送信と同様です）

保管キー入力情報選択 （ 1 つ選択または、 CMD3 で終了 ）			
選択	名前	記述	作成者
	HIRO	HHH	QSECOFR
	KOIDE		KOIDE
	MURRAY	MMM	QSECOFR

b. F 1 3 ～ F 2 0：保管キーページの取得

上記 a. で取得された保管キーブックの各ページが各ファンクションキーに対応。

F 1 3：1 ページ

F 1 4：2 ページ

F 1 5：3 ページ

F 1 6：4 ページ

F 1 7：5 ページ

F 1 8：6 ページ

F 1 9：7 ページ

F 2 0：8 ページ

保管キーページの取得を行うと、キーページに設定されている各行が以下のように設定（上書き）されます。

キーページの 2 行目：項目説明の④（件名）に設定（上書き）されます。

キーページの 3 行目～1 4 行目：項目説明の⑤～⑧（メッセージ）に設定（上書き）されます。

＊保管キーブックの作成については、前述のファックスの項をご参照下さい。

Mail送信用画面（17ページ参照）の入力が完了したら実行キーを押します。

受取人情報入力 詳細を入力して実行キーを押して下さい	
受取人：	KOIDE
宛先名：	_____

宛先名を入力します。（F9でアドレス選択を行った場合、この画面は表示されません。）
入力後、実行キーを押しますと、下記画面が表示されます。

帳票詳細入力 実行キーで選択が確定されます。	
スプール ID= QPADEV0004/KOIDE/143064/QPQUPR FIL/0001/*STD/	
記述	REPORT ATTACHMENT ① _____
添付形式	P - P D F形式で添付 ② T - テキスト形式で添付 B - メール本文として送信
送信ページ範囲	1 ③ 1 ④
用紙タイプ	*STD ⑤ _____
F6= カバーページへ戻る	

<項目説明>

①記述

Mailするスプールファイルの添付名を入力します。

※全角入力は不可

②添付形式

Mail送信方法を入力します。

“ P ”：スプールファイルをフォームにマージして、PDFの添付ファイルとしてMail送信を行います。

“ T ”：スプールファイルをそのままの形式で、テキストファイルの添付ファイルとしてMail送信を行います

“ B ”：スプールファイルをメール本文としMail送信を行います。

③送信ページ範囲（From）

送信対象ページの開始ページを指定します。

④送信ページ範囲（To）

送信対象ページの終了ページを指定します。

⑤用紙タイプ

添付形式を“ P ”に指定した場合にフォーム名を指定します。

項目説明を参照し、入力を行い実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信		2:16PM 2/03/08	
				スプールファイル数 : 7	
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。					
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性					
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル					
				合計	
ファイル	ユーザー	装置 /	ユーザーデータ	用紙タイプ	数 日付 時刻
BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1 7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3 7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2 7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6 7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1 7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5 7/03/02 15:28
QPDSP LIB	KOIDE	KOIDE SV		*STD	2 7/03/02 17:25
					+
オプション 1,2,3 のパラメータ					
==>					
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き					

F 1 0 キー：続行を押すと、M a i l の送信処理が開始されます。

F 3 キーを押して、メニューに戻り、メッセージリストにてM a i l の送信状況を確認します。

F 1 0 キーを押さないで、F 3 キーまたはF 1 2 キーを押すと以下のようなメッセージが表示されます。送信処理のキャンセルを行う場合は“ N ”を入力し実行キーを押します。

未送信のスプールファイルを 送信しますか？ Y F12= 取消し

◆ プリンター出力処理

プリンター出力を行う、スプールファイルのオプション欄に“X”（転送オプション）を入力し、実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信			2:25PM 2/03/08	
				スプールファイル数 :		7
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
						合計
ファイル	ユーザー	装置 /	ユーザデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
X BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1	7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3	7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2	7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6	7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1	7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5	7/03/02 15:28
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDE SV		*STD	2	7/03/02 17:25
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

送信方法選択画面が表示されるので、ここではプリントを選択します。
プリントのオプション欄に“X”を入力します。

転送オプション	
文字を入力して実行キーを押して下さい。	
FAX	
Eメール	
X	プリント ファイル
F12= 取消し	

プリンター出力用に以下の画面が表示されます。

プリント詳細の入力	
サブスクライバー: ①	F9 サブスクライバーディレクトリ
&/OR プリンター: ②	
宛先: F4 変更/表示	
差出人: 小出 ③	/REVIEW
件名: ④	
メッセージ: ⑤	
⑥	
⑦	
⑧	+
ウイコムにおけるこのメッセージのオーナー	KOIDE ⑨
ウイコムメッセージリストの件名に含む内容: S ⑩	T= 宛先 TS= 宛先/件名 S= 件名 ST= 件名/宛先
すべての添付を結合する Y/N: N ⑪	
F13-20= 保管キーページ取得 F7= 保管キーブック QPADEV0003/KOIDE/486674/BIL6200/0002/BIL620/BIL620	

各項目については次ページ以降に詳細に説明を記述します。

<項目説明>

①サブスクライバーコード

プリンター出力サービスを定義してあるサブスクライバーコードを指定します。
F 9 キーで登録してあるサブスクライバーから送信先を選択することもできます。

KOIDE	アドレス選択	9:48AM 2/03/08
		MSG: *NEW
開始位置		
アドレスを選択して下さい。		
T="T0" 送信先 C="CC" カーボン・コピー		
アドレス	アドレス名称	
DEFAULT-WF	ウィルファックスサービス	S
DEFAULT-WM	ウィルメールサービス	S
DEFAULT-WP	ウィルプリントサービス	S
DISTRIBUTOR-ADDRESSED	配布 ファイル での アドレスリング	S
FAX-TO-KISS	KISS FAX	S
HIRO	HIROSHI MUNETO'S USER PROFILE	U
JUN@KISS21.CO.JP	NAME:JUN@KISS21.CO.JP	S
KOIDE	小出 利行	U
KOIDE	KOIDE	S
KOIDE-WF	KOIDE-WF	S
MAIL	MAIL	S
MUNETO		S +
F3= 終了	F5= 最新表示	F6= グループ・メンテナンス
F7= アドレス名称順表示		F8= アドレス名称で抽出
F9= アドレス・メンテナンス		F10= 実行

送信を行う宛先に“ T ”（送信先）を指定し、F 1 0 キーを押します。
また、“ C ”（カーボン・コピー）を指定しますと、同時に複数プリンターへの出力が可能です。

F 1 0 キーを押すと、宛先名の入力画面が表示されますの宛先名を入力します。

受取人情報入力	
詳細を入力して実行キーを押して下さい	
受取人 :	KOIDE
宛先名 :	_____

②プリンター

出力するプリンター名を入力します。①のサブスクライバーコードと併用し、同時に複数プリンターへの出力が可能です。

③差出人

差出人名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロファイルのユーザー名が初期表示されます。

④件名

件名を入力します。

⑤～⑧メッセージ

メッセージを入力します。

⑨ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー

オーナー名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロファイルが初期表示されます。

⑩ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容

ウィルコムメッセージリストの件名に表示する内容の指定をします。

“ T ” :宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。初期表示の値。

“ S ” :件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ T S ” :宛先／件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ S T ” :件名／宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

⑪全ての添付を結合する Y/N

メール送信サービス、ファイル保存サービスのみ機能します。

複数スプールファイルを選択した場合に、それぞれのフォームで複数のファイル（例：PDF ファイルなど）を作成し、メール添付／ファイル保存を行うのか、一つのファイルにてメール添付／ファイル保存を行うか、ファイル作成方法を指定します。

Y：1つのファイルにて添付ファイル／ファイル保存

N：複数のファイルにて添付ファイル／ファイル保存

a. F 7 キー：保管キーブック

保管キーブックの選択をします。（保管キーブックの作成方法は FAX 送信と同様です）

保管キー入力情報選択 （ 1 つ選択または、 CMD3 で終了 ）			
選択	名前	記述	作成者
	HIRO	HHH	QSECOFR
	KOIDE		KOIDE
	MURRAY	MMM	QSECOFR

b. F 1 3 ～ F 2 0：保管キーページの取得

上記 a. で取得された保管キーブックの各ページが各ファンクションキーに対応。

F 1 3：1 ページ

F 1 4：2 ページ

F 1 5：3 ページ

F 1 6：4 ページ

F 1 7：5 ページ

F 1 8：6 ページ

F 1 9：7 ページ

F 2 0：8 ページ

保管キーページの取得を行うと、キーページに設定されている各行が以下のように設定（上書き）されます。

キーページの 2 行目：項目説明の④（件名）に設定（上書き）されます。

キーページの 3 行目～1 4 行目：項目説明の⑤～⑧（メッセージ）に設定（上書き）されます。

＊保管キーブックの作成については、前述のファックスの項をご参照下さい。

プリンター出力用画面（24ページ参照）の入力が完了したら実行キーを押します。
実行キーを押しますと、下記画面が表示されます。

帳票詳細入力	
実行キーで選択が確定されます。	
スプール ID= QPADEV0003/KOIDE/486674/BIL6200/0002/BIL620/BIL620	
記 述	: REPORT ATTACHMENT ①
プリント方法	: F F - フォーム
	② T - テキスト
送信ページ範囲	③ 1 ④ 1
用紙 タイプ	BIL620 ⑤
F6= カバーページへ戻る	

<項目説明>

①記述

プリンター出力処理に関係はありません。入力しません。

②添付形式

“F”を入力します。（初期値）

スプールファイルをフォームにマージして、プリンターへ出力を行います。

※“T”：次バージョン以降の拡張用です。現時点では使用できません。

③送信ページ範囲（From）

プリンター出力対象ページの開始ページを指定します。

④送信ページ範囲（To）

プリンター出力対象ページの終了ページを指定します。

⑤用紙タイプ

フォーム名を指定します。

項目説明を参照し、入力を行い実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信			5:16PM	2/03/08
					スプールファイル数 :	7
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
					合計	
ファイル	ユーザー	装置 /	ユーザーデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1	7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3	7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2	7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6	7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1	7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5	7/03/02 15:28
QPDSP LIB	KOIDE	KOIDE SV		*STD	2	7/03/02 17:25
						+
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

F 1 0 キー：続行を押すと、プリンター出力処理が開始されます。

F 3 キーを押して、メニューに戻り、メッセージリストにてプリンター出力（印刷）の送信状況を確認します。

F 1 0 キーを押さないで、F 3 キーまたはF 1 2 キーを押すと以下のようなメッセージが表示されます。送信処理のキャンセルを行う場合は“ N ”を入力し実行キーを押します。

未送信のスプールファイルを 送信しますか？ Y F12= 取消し

◆ ファイル保存処理

ファイル保存を行う、スプールファイルのオプション欄に“ X ”（転送オプション）を入力し、実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信			5:25PM 2/03/08	
				スプールファイル数 :		7
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
合計 ページ						
ファイル	ユーザー	装置 / 待ち行列	ユーザーデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
X BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1	7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3	7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2	7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6	7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1	7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5	7/03/02 15:28
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDE SV		*STD	2	7/03/02 17:25
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

送信方法選択画面が表示されるので、ここではファイルを選択します。
ファイルのオプション欄に“ X ”を入力します。

転送オプション	
文字を入力して実行キーを押して下さい。	
FAX	
Eメール	
プリント	
X ファイル	
F12= 取消し	

ファイル保存用に以下の画面が表示されます。

ファイル詳細の入力	
サブスクライバー: ①	F9 サブスクライバーディレクトリ
&/OR フォルダー: ②	
宛先: F4 変更/表示	
差出人: 小出 ③	/REVIEW
件名: ④	
メッセージ: ⑤	
⑥	
⑦	
⑧	+
ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー	KOIDE ⑨
ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容: S ⑩	T= 宛先 TS= 宛先/件名
	S= 件名 ST= 件名/宛先
すべての添付を結合する Y/N: N ⑪	
F13-20= 保管キーページ取得 F7= 保管キーブック	
QPADEV0003/KOIDE/486674/BIL6200/0002/BIL620/BIL620	

各項目については次ページ以降に詳細に説明を記述します。

①サブスクライバーコード

ファイル保存サービスを定義してあるサブスクライバーコードを指定します。
F 9 キーで登録してあるサブスクライバーから保存先を選択することもできます。

(注意)

サブスクライバーを登録する際のサービスコード（内部使用コード）は
“WA”（ウィルファイル）を設定します。

KOIDE	アドレス選択	9:48AM 2/03/08
		MSG: *NEW
開始位置		
アドレスを選択して下さい。		
T="T0" 送信先 C="CC" カーボン・コピー		
アドレス	アドレス名称	
DEFAULT-WF	ウィルファックスサービス	S
DEFAULT-WM	ウィルメールサービス	S
DEFAULT-WP	ウィルプリントサービス	S
DISTRIBUTOR-ADDRESSED	配布 ファイル での アドレス登録	S
FAX-T0-KISS	KISS FAX	S
HIRO	HIROSHI MUNETO'S USER PROFILE	U
JUN@KISS21.CO.JP	NAME:JUN@KISS21.CO.JP	S
KOIDE	小出 利行	U
KOIDE	KOIDE	S
KOIDE-WF	KOIDE-WF	S
MAIL	MAIL	S
MUNETO		S +
F3= 終了	F5= 最新表示	F6= グループ・メンテナンス
F7= アドレス名称順表示		F8= アドレス名称で抽出
F9= アドレス・メンテナンス		F10= 実行

保存先に“T”（送信先）を指定し、F10キーを押します。
また、“C”（カーボン・コピー）を指定しますと、同時に複数フォルダーへの保存が可能です。

F10キーを押すと、宛先名の入力画面が表示されますの宛先名を入力します。

受取人情報入力 詳細を入力して実行キーを押して下さい 受取人 : KOIDE 宛先名 : _____
--

②フォルダー

保存するフォルダー名（パス）を入力します。①のサブスクライバーコードと併用し、

同時に複数フォルダーへの保存が可能です。

③差出人

差出人名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロファイルのユーザー名が初期表示されます。

④件名

件名を入力します。

⑤～⑧メッセージ

メッセージを入力します。

⑨ウィルコムにおけるこのメッセージのオーナー

オーナー名を入力します。

ウィルコムを使用しているユーザー・プロファイルが初期表示されます。

⑩ウィルコムメッセージリストの件名に含む内容

ウィルコムメッセージリストの件名に表示する内容の指定をします。

“ T ” : 宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。初期表示の値。

“ S ” : 件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ T S ” : 宛先／件名がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

“ S T ” : 件名／宛先がウィルコムメッセージリストの件名に表示されます。

⑪全ての添付を結合する Y/N

メール送信サービス、ファイル保存サービスのみ機能します。

複数スプールファイルを選択した場合に、それぞれのフォームで複数のファイル（例：PDF ファイルなど）を作成し、メール添付／ファイル保存を行うのか、一つのファイルにてメール添付／ファイル保存を行うか、ファイル作成方法を指定します。

Y：1つのファイルにて添付ファイル／ファイル保存

N：複数のファイルにて添付ファイル／ファイル保存

<ファンクションキー説明>

a. F 7 キー：保管キーブック

保管キーブックの選択をします。（保管キーブックの作成方法は FAX 送信と同様です）

保管キー入力情報選択 （ 1つ選択または、 CMD3 で終了 ）			
選択	名前	記述	作成者
	HIRO	HHH	QSECOFR
	KOIDE		KOIDE
	MURRAY	MMM	QSECOFR

b. F 1 3 ～ F 2 0：保管キーページの取得

上記 a. で取得された保管キーブックの各ページが各ファンクションキーに対応。

F 1 3：1 ページ

F 1 4：2 ページ

F 1 5：3 ページ

F 1 6：4 ページ

F 1 7：5 ページ

F 1 8：6 ページ

F 1 9：7 ページ

F 2 0：8 ページ

保管キーページの取得を行うと、キーページに設定されている各行が以下のように設定（上書き）されます。

キーページの 2 行目：項目説明の④（件名）に設定（上書き）されます。

キーページの 3 行目～1 4 行目：項目説明の⑤～⑧（メッセージ）に設定（上書き）されます。

＊保管キーブックの作成については、前述のファックスの項をご参照下さい。

ファイル保存用画面（31ページ参照）の入力が完了したら実行キーを押します。
実行キーを押しますと、下記画面が表示されます。

帳票詳細入力	
実行キーで選択が確定されます。	
スプール ID= QPADEV0003/KOIDE/486674/BIL6200/0002/BIL620/BIL620	
記 述	: REPORT ATTACHMENT ①
ファイル方法	: P P - PDF (ACROBAT イメージ フォーマット)
	② T - テキスト (テキスト フォーマット)
送信ページ範囲	③ 1 ④ 1
用紙 タイプ	BIL620 ⑤
F6= カバーページへ戻る	

<項目説明>

①記述

保存されるファイル名を入力します。

②添付形式

作成ファイル形式を指定します。

“ P ”：スプールファイルをフォームにマージして、PDFファイルとしてフォルダーに保存を行います。

“ T ”：スプールファイルをそのままの形式で、テキストファイルとしてフォルダーに保存を行います

③送信ページ範囲（From）

プリンター出力対象ページの開始ページを指定します。

④送信ページ範囲（To）

プリンター出力対象ページの終了ページを指定します。

⑤用紙タイプ

添付形式を“ P ”に指定した場合にフォーム名を指定します。

項目説明を参照し、入力を行い実行キーを押します。

KOIDE		WILSP00L - スプールファイル送信			6:16PM	2/03/08
					スプールファイル数 :	7
オプションを打鍵して、実行キーを押して下さい。						
1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 開放 8= 属性						
9= 印刷状況の処理 X= 転送オプション M= マップファイル						
					合計	
ファイル	ユーザー	装置 /	ユーザーデータ	用紙タイプ	数	日付 時刻
BIL6200	KOIDE	WILFAXSV	BIL620	BIL620	1	7/02/02 11:08
CSVRCV3C	KOIDE	PRT01		*STD	3	7/03/02 10:37
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	2	7/03/02 13:20
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	6	7/03/02 14:06
BIL6200	KOIDE	PDFSV	BIL620	*STD	1	7/02/02 11:08
QPJOBLOG	KOIDE	PRT01	QPADEV0003	*STD	5	7/03/02 15:28
QPDSPLIB	KOIDE	KOIDE SV		*STD	2	7/03/02 17:25
						+
オプション 1,2,3 のパラメータ						
==>						
F3= 終了 F5= 再表示 F6= 簡易送信 F10= 続行 F12= 取消し F24= キーの続き						

F 1 0 キー：続行を押すと、ファイル保存処理が開始されます。

F 3 キーを押して、メニューに戻り、メッセージリストにてファイル保存の送信状況を確認します。

F 1 0 キーを押さないで、F 3 キーまたはF 1 2 キーを押すと以下のようなメッセージが表示されます。送信処理のキャンセルを行う場合は“ N ”を入力し実行キーを押します。

未送信のスプールファイルを 送信しますか？ Y F12= 取消し
